

女性活躍推進フォーラムin東京 第3回

褒める・叱るはその場で

3つの性格タイプを見極め

桑野麻衣氏が講演

人材育成委員会主管の「第3回
女性活躍推進フォーラムin東京」
が10月14日、東京・日本橋三洋グ

ループビル会議室で開かれた。会
員13社の女性正社員18人が、さる
5月26日の第1回、7月14日の第
2回に引き続き参加した。

実務に役立つセミ
ナーは、マナー、コ
ミュニケーションの
講師として企業研修
や各種セミナー、大
学生や経営者、医療
法人向けの講演など
幅広く活動している
桑野麻衣氏が、「人材
育成術セミナー」上
手な褒め方・叱り方
」と題し、日常業務

の中で部下を育成
するための「声か
けポイント」と効
果的な褒め方・
叱り方」を伝授し
た。

桑野氏は、褒め
られて伸びるタイプと叱られて伸
びるタイプがあり、タイプ別には、
①感情・人間関係重視タイプ ②
事実・結果重視タイプ ③直感・
天才肌タイプ——の3つに大別さ
れると指摘した。「感情・人間関
係重視タイプ」は表情豊かで人の
目を気にし、人がどう思うかを判
断基準にしており、褒められて伸
びるが叱られるとへこむ。「事
実・結果重視タイプ」は冷静・的
確で論理的な話し方・考え方をす
るので、適切に褒め、適切に指摘
すると効果的。「直感・天才肌タイ
プ」は判断も切り替えも早く、く
よくよせず、あまり人に相談しな
いタイプで、説教くさ
いとかえってモチベー
ションを下げるという。

が重要で、必ずその場で（またはそ
の日のうちに）褒める（認める）・叱
る（指導する）。このタイミングを
逃すと個人の勝手な解釈が入って
しまい、相手が正確に理解しにく
くなってしまうと指摘した。

4班に分かれ、企画考案

グループディスカッションは4
グループに分かれ、割り振られた
2つのテーマ「キャリア・プラン
ニング」「ワーク・ライフ・ balan
ス」に沿って、女性が働きやすい
環境で一層輝けるような、しかも
実現可能な企画を練った。次回は
プレゼンテーションを行うため、
今回で事実上完成しておくよう、
各グループは求められた。最後に
懇親会を開き、業種や企業の垣根
を越えて親交を深めた。

「褒める・叱る」の目
的は、期待感と信頼感
で相手に自信を与える
ことだが、タイミング



講演する桑野麻衣氏



次回のプレゼンのため、最後のディスカッション



反映させることが最終的な目標となる。また、実務に役立つ各種のセミナーや人脈ネットワークづくりの一助となる懇親

会も毎回実施している。なお、「女性活躍推進フォーラム in 九州」も昨年度と同様、福岡市で3回開催される予定で、6月15日、9月14日に引き続いて12月14日に第3回(最終回)が開かれる。

人材育成委員会

10月13日
日本橋三洋グループビル
出席委員等12人

テーマは「働き方改革」

11・22「人材育成フォーラム」

11月22日に東京の日本橋三洋グループビルで予定している人材育成フォーラムのテーマ、講演等の内容を決定した。テーマは「働き方改革」とし、サブテーマに「人事評価制度」を掲げた。講演は、「人材定着率アップに向けた人事データの活用方法(JIN JERの活用)」「(株)ネオキャリア」の「サイボウズ式働き方改革の実現と評価との連動」(サイボウズ)の2つとなっている。

対象は会員企業の人材部門担当者(ミドル層中心)で、フォーラムのディスカッションを通じて企業間の情報交換、意見交換を行い、自社の問題解決のヒントをみつけてもらう。さらにそのあとの懇親会も含めて人材部門関係者の人脈づくりの場を提供していく。人材フォーラムは2014年度まで開かれ、その後女性活躍推進フォーラムが登場したことなどから中断されていた。

女性活躍推進フォーラム 2015~2020

好評!特設サイト 新着情報更新中

www.nichiyukyo.or.jp/diversity/

2015年から始まった、人材育成委員会三大事業の一つ「女性活躍推進フォーラム」。2020年まで続く、日遊協会員企業の女性社員育成を目的としたロングラン企画で、「キャリアプランニング」「ワークライフバランス」をテーマに、女性社員が主役となる学びと創造の場を用意しました。

当サイトでは、これまでフォーラムに参加した方々がここで何をインプットし、各社に持ち帰ることができるアウトプットを創り出したかご覧いただけます。

店舗や企業で活躍する女性たち自身が、遊技業界全体の活性化と女性活躍推進を大きな目的として自ら動き出しています。日遊協会員企業のキラキラ輝く女性社員の姿をご覧ください。

主なコンテンツ ▶女性活躍推進フォーラムとは ▶女性活躍推進フォーラム各回の様子(New2017in東京(第3回))>(New2017in九州(第2回)) ▶女性活躍推進アンケート結果 他

